

渡辺慶一著『稿本越後遊女史料』

これは、故渡辺慶一が昭和 25 年（1950）9 月に書いた労作で、400 字詰め原稿用紙 447 枚の稿本、上下 2 巻からなり、未出版の原稿のまま遺されていた。

副題「越後売女の研究」、内容は次の通り。

研究編

- 第一章 上代に於ける寺社門前町と巫娼
- 第二章 中世に於ける港町と遊女
- 第三章 近世に於ける越後売女
 - 第一項 港町遊女及び浮身の類
 - 第二項 街道宿場の飯盛女
 - 第三項 温泉場の湯女

史料編

- 越後今町遊女浮身史料
- 高田横町旅籠屋留女史料
- 岩室温泉湯女史料
- 柏崎・出雲崎・新潟売女史料
- 越後農村売女史料
- 文学に現れた越後遊女史料
- 明治時代貸座敷制度資料